



5,6年生 滝山東照宮本殿保存修理現場の見学

17日(金)の午前中に、5,6年生が4つのグループに分かれて、常磐小学区にある重要文化財滝山東照宮本殿の保存修理現場の見学に行ってきました。

滝山東照宮は、家康を篤く敬っていた徳川三代将軍家光が、家康の生誕地である岡崎に東照宮を造営することを命じ、正保3年(1646年)に建立された社殿です。社殿は創建以来、江戸幕府の支援を受けて定期的な修理が行われていました。元は滝山寺の管理下にありましたが、明治維新の神仏分離により独立しました。大正以降は村社として維持され、現在は地域の人々をはじめとして多くの人々が携わり保存が図られています。



前回の修理は昭和44年(1969年)から46年(1971年)にかけて、屋根葺替や塗装修理が行われました。この修理から50年経ち、彩色の劣化や銅板瓦の破損が著しくなってきたことから、地元住民やNPO法人の支援を受けて、令和3年9月から保存修理事業を開始しました。そして、令和4年1月に本殿の塗装修理等の工事に着手し、令和6年5月に保存修理事業が終了する予定です。半世紀の時を超えて、美しく生まれ変わる滝山東照宮本殿を見られる日が、待ち遠しく感じてなりません。

4年生社会科見学 石の公園団地

21日(火)に4年生は稲熊町にある石の公園団地を訪れ、岡崎市の伝統的な石製品づくりについて学びました。石の種類



は何百種類もあることや色によって重さが違うこと、石を磨く機械や汚れた水をきれいにして再利用することなど、石の加工について学びを深めました。特に、ダイヤモンドカッターには見学前から興味津々で、実際に大きな石が水を使いながらダイヤモンドカッターで切られていく様子を見て驚いていました。また、ハンマーを使って石を適度の大きさに割っていく体験は、石を割る子をみんなで応援し、割れた時にはみんなで大喜びしていました。

はなはな組体験学習 生命の海科学館

22日(水)に、はなはな組さんは、蒲郡市にある生命の海科学館を訪れました。地球が誕生してから人類が誕生するまでの歴史や命について楽しく学んだり、サイエンスショーで体験したり、ミュージアムシアターの上映に感動したりするなど、バス、電車の乗降も含め、様々な学習をすることができました。

